

# 観光振興財源導入による競争力への影響



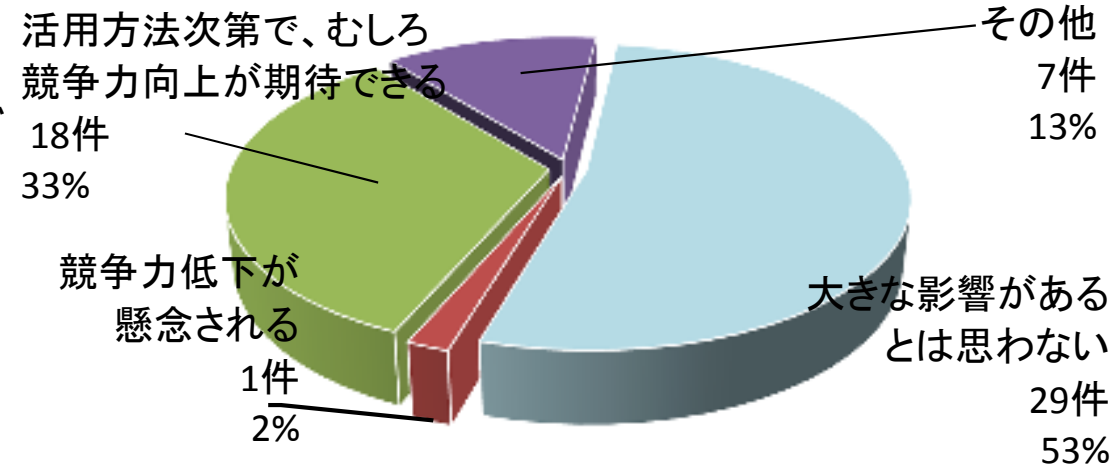
2018年10月31日

福岡県商工部観光局観光政策課

# ○地域間競争力に関する旅行業者へのアンケート結果

(旅行博等において旅行会社に対して実施したアンケート調査回答55件)

問1 宿泊税等の観光振興財源確保策として、福岡県が観光客に数百円程度の負担を求めた場合に想定される影響について教えてください。



問2 問1で「競争力低下が懸念される」と回答した場合) 想定される貴社の事業への影響について教えてください。

(回答 1 件)

- 旅行費用上昇への対策として、ツアー行程の見直しが必要

問3 問1で「活用方法次第で、むしろ競争力向上が期待できる」と回答した場合) 競争力向上のために、県に求める施策について教えてください。

(主な回答)

● 「食」以外の福岡の代名詞となるような観光資源創生
● キャッシュレスやWi-Fi、二次交通対策
● 体験型観光資源の開発など、魅力ある観光資源づくり
● 高齢者、障がい者へのケア
● 国内外に向けた効果的なプロモーション
● 東京を訪れる観光客の誘客
● 旅行業者の商品造成への支援

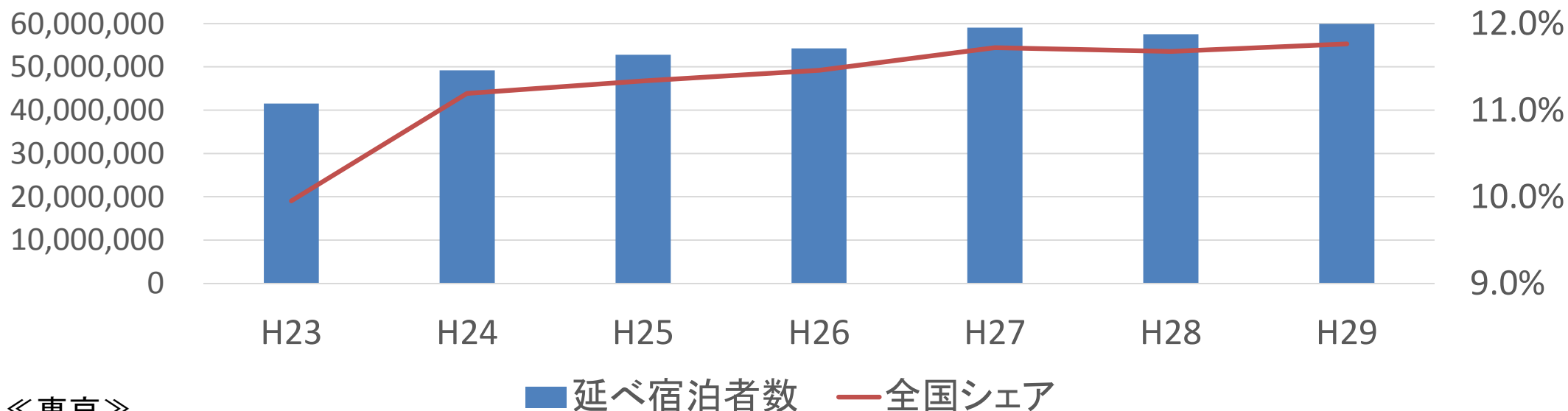
# ○観光振興財源導入による競争力への影響①

東京都

- ①【税導入時期】平成14年～
- ②【税率】 10,000円以上～15,000円未満 : 100円  
15,000円以上 : 200円

(単位：人)

(単位：%)



《東京》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
延べ宿泊者数	41,528,320	49,189,870	52,824,060	54,258,780	59,087,920	57,514,950	59,949,670
全国比	10.0%	11.2%	11.3%	11.5%	11.7%	11.7%	11.8%
延べ宿泊者数(全国)	417,234,450	439,495,120	465,893,370	473,501,950	504,078,370	492,485,160	509,596,860

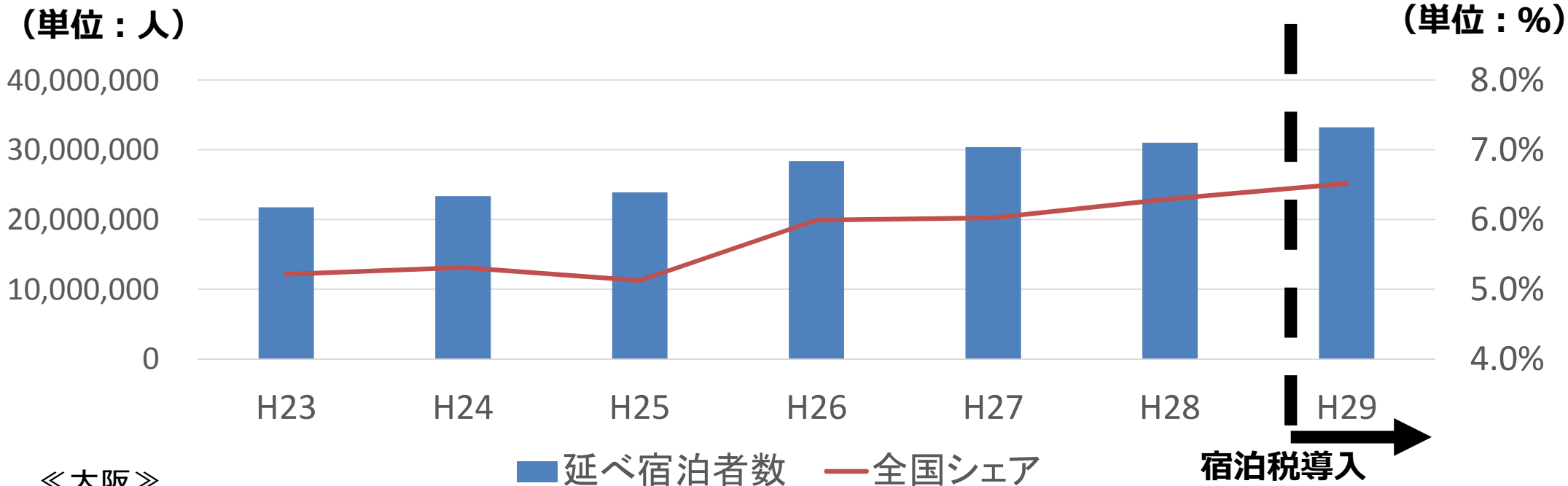
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

※従業員9人以下の宿泊施設が、年間を通じて調査対象となった平成23年以降を記載。

# ○観光振興財源導入による競争力への影響②

## 大阪府

- ①【税導入時期】平成29年～
- ②【税率】 10,000円以上～15,000円未満 : 100円  
 15,000円以上～20,000円未満 : 200円  
 20,000円以上 : 300円



《大阪》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
延べ宿泊者数	21,764,630	23,343,620	23,881,430	28,369,250	30,366,080	31,010,470	33,212,480
全国比	5.2%	5.3%	5.1%	6.0%	6.0%	6.3%	6.5%
延べ宿泊者数(全国)	417,234,450	439,495,120	465,893,370	473,501,950	504,078,370	492,485,160	509,596,860

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

※従業員9人以下の宿泊施設が、年間を通じて調査対象となった平成23年以降を記載。